

櫻井徳太郎先生略歴



南方熊楠賞受賞後の櫻井徳太郎先生

大正 6年 (1917)	新潟県北魚沼郡川口村（現北魚沼郡川口町）に櫻井藤吉の長男として誕生
昭和 4年 (1929)	川口村立和南津尋常小学校卒業
昭和11年 (1936)	高田師範学校本科第一部卒業
昭和16年 (1941)	東京高等師範学校文科第四部（地歴専攻）卒業
昭和19年 (1944)	東京文理科大学史学科卒業 卒業論文『報恩思想成立史試論』
昭和19年 (1944)	東京高等師範学校助教授任命
昭和28年 (1953)	財団法人民俗学研究所所員、同理事就任
昭和37年 (1962)	学位論文『地域社会における講の沈着過程の研究』で東京文理科大学から文学博士号授与 同年、日本民俗学会年会において『講集団成立過程の研究』により、第1回柳田國男賞受賞
昭和52年 (1977)	東京教育大学文学部の閉鎖により、同教授辞任 同年、駒澤大学文学部教授（大学院博士課程担当）任命 同年、日本民俗学会代表理事（会長）に選出
昭和53年 (1978)	文化庁文化財保護審議会専門委員（第五専門調査会）任命
昭和56年 (1981)	紫綬褒章受章
昭和60年 (1985)	板橋区文化財保護審議会会長就任（平成9年迄）
昭和61年 (1986)	駒澤大学学長任命
平成 2年 (1990)	板橋区史編さん調査会会長就任 同年、勲三等旭日中綬章受章
平成 3年 (1991)	日本風俗史学会会長に選出
平成 9年 (1997)	傘寿を期し公職を一切辞す 同年、区長感謝状（文化財保護審議会委員及び会長への功労）、区政功労者の表彰を受ける
平成11年 (1999)	全蔵書資料を板橋区に寄贈
平成12年 (2000)	区民文化栄誉賞受賞。公文書館付設の「櫻井徳太郎文庫」が公開
平成14年 (2002)	板橋区条例により「櫻井賞」設置 同年、第12回南方熊楠賞受賞 同年、第1回櫻井賞授与式開催
平成19年 (2007)	8月27日、悪性リンパ腫のため逝去（享年90歳）

主要著作

『日本民間信仰論』（雄山閣、1958年）、『講集団成立過程の研究』（吉川弘文館、1962年）、『神仏交渉史研究－民俗における文化接触の問題－』（吉川弘文館、1968年）、『日本人の生と死』（岩崎美術社、1968年）、『沖縄のシャマニズム－民間巫女の生態と機能－』（弘文堂、1973年）、『日本のシャマニズム 上・下』（吉川弘文館、1977年）、『靈魂観の系譜－歴史民俗学の視点－』（筑摩書房、1977年）、『結衆の原点』（弘文堂、1985年）、『櫻井徳太郎著作集 全10巻』（吉川弘文館、1987～1991年）、『櫻井徳太郎 民俗探訪 全4巻』（法蔵館、1992～1993年）
ほか多数